

み
か
い

か

い

安住院便り (第5号)

平成12年8月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

マンダラ(曼荼羅)(②)

皆さん、マンダラ(曼荼羅)についてもう少し考えて見たいと思います。マンダラとは「本質を持つもの」ということで、本質とはさとりを意味します。そして、胎藏界ともう一つ、金剛界のマンダラがあり、九つの部分が一緒になつて出来ています。各部の中心は、大日如来又は関連の深いもので、同じ仏様が何度も出ていますし、仏様そのものではなく、持ち物なども表されています。胎藏界が空間的要素であるのに対し、金剛界は時間的な考え方で出来ています。それは、ドラマ仕立てになつてているのです。

例えば、会社勤めのお父さんでも、背広を着て会社で仕事をしている姿だけが、お父さんではありません。家に戻り、家族と食事をしたり、一人でゆっくりお風呂に入つたりします。ある時は子供を叱る怖いお父さんかもしれませんし、ある時は、家族とどこかへ旅行します。子供と遊ぶ優しいお父さんかも知れません。どれが本当のお父さんでしょうか。どれもん。どれが本当のお父さんでしようか。どれもん。どれがお父さんの姿であり、全部まとめてお父さんなのです。このように、万能の仏様でもいろいろな面を示したのが、金剛界マンダラなのです。

ですから、会社人間はいけないのです。一昔前モーレツ社員などと、もてはやされ、気がついたら窓際に追いやられ、家に帰つても自分の居場所さえない。そんなお父さんはいませんか。最近は余暇を楽しむ風潮も増えてきましたが、それでもお父さんは会社ばかり、子供は学校から帰つては塾へ行き、受験のための勉強ばかり、お母さんは家庭が多いのではないでしようか。あることに熱中することは大事ですが、様々なことが出来るから、人間なのではないでしょうか。しかも、今は、結局お金のためだけではないでしょうか。本当に家族みだけやるのでしょうか。一つのことだけやるのでしたら、それは人間ではなく事件を数々起こしているような気がしてなりません。皆さんが優しい心、豊かな心が持てるような生活を、是非考えてみて下さい。



聖観音像が県重文に

本年三月、岡山県教育委員会により、当院の聖観音菩薩立像が、岡山県指定重要文化財に指定されました。

この観音さまは、八世紀末のもので、鉈彫りという手法で造られた、貴重なものです。これで、安住院の建物・什物で、文化財に指定されたものは、六点になりました。

客殿玄関改修完成

昨年の秋より修復いたしました。おりました、客殿玄関回りの改修工事がほぼ完成致しました。何かと御迷惑をお掛けいたしましたが、檀信徒の皆様の檀那寺であり、一二〇〇年の歴史のある古刹に相応しい装いになつたと考えております。来年にはその落慶をも含め御開帳記念事業を検討いたしておりますので、御助力のほど是非宜しくお願ひ致します。



住職が本山の執行に

現在、安住院の本山は、香川県の善通寺です。弘法大師の御誕生所であり、真言宗総本山の一つです。住職が、その善通寺の執行で教説部長に、この春より就任致しました。善通寺に行く機会も多く、檀信徒の皆様にはご不便をお掛けしますが、何卒ご理解下さり、温かく見守ってくださいば幸です。

四国八十八ヶ所霊場巡り

今年の四月十三・十四日

檀信徒の皆様と、四国八十八ヶ所霊場巡拝の第五回目を行いました。

伊予の国に入り、宇和島の第四十一番（龍光寺）から、松山市内の第五十一番石手寺までの十一ヶ寺でした。

日中は汗ばむほどの陽気でした。やはり天候にも恵まれたお参りは最高で、お陰も増すような気がします。

伊予では最大の難所の一つである岩谷寺へも、みんなで元気に上りました。

これからは、お参りする寺院の数も多くなり、いよいよ何處に参拝したのか分からなくなりそうです。しかし、スタンプラリーにはしたくあります。せんので、ゆっくり出来る所は焦らず、順番に回つて行きたいと思います。あくまでも、お大事様といつしょの路でもることを忘れずに、行かなけばなりません。



次回は十月十七日（火）・十八日（水）ですでので、皆様宜しくお願い致します。